

聖コロンバーノ修道院、Abbazia di San Colombano — ボッビオ、Bobbio

ボッビオは、ピアチェンツァとジェノヴァを真直ぐつないだ線上のピアチェンツァから距離で 3 分の 1 くらいのところに位置するエミリア・ロマーナ州ピアチェンツァ県のコムーネの一つで、イタリアでは聖コロンバーノの修道院があることで有名な街です。鉄道の駅もない辺鄙な街ですが、ヴァル・トレッビア（トレッビア溪谷）にある山々に囲まれた街で、ポー川の支流であるトレッビア川が傍を流れている美しい自然環境に加えて、ローマ時代に起源のある古い橋、11-12 世紀に建てられた教会、13 世紀建てられた城等、観光名所が多い村です。事実かどうかはわかりませんが、「イタリアで最も美しい村に認定された」とインターネットに書いてありました。

この村は、ローマ時代以前から、ヴァル・トレッビアに沿ったピアチェンツァとジェノヴァを結ぶ幹線道路の中継点として塩の交易で栄えていたのですが、実際には、この村の歴史は 7 世紀初めにアイルランドから来た聖コロンバーノから始まったと言って良いようです。聖コロンバーノはこの地域の司教に最大限の敬意をもって歓迎され、612-614 年の間にボッビオの地を与えられて修道会を設立しています。但し、聖コロンバーノがボッビオに来た時には、既にかかなりの歳だったようで、実際には彼の死後、弟子たちが聖コロンバーノを拝してこの地に修道院を建てたそうです。修道院はまもなく大勢の修道士を抱えて、農業、酪農、宗教・医学の研究等、幅広い活動を行います。その結果、修道院の農業・酪農の技術力は非常に優れていたもので、直ぐにこの地域の生産拠点となり地域住民を導くに十分な力を持つとともに、トレッビア川を使った輸送で、その販売網を北イタリア各地に広げたことにより大きな経済力も得ました。10,11 世紀には宗教的にも北イタリアの中心的な役割を持ち、ボッビオ司教区として認定されて、街の周りには城壁も造られました。ドゥオモはこの頃に建てられ、この時点で現在の街の輪郭が出来上がっています。また、学問においても、この修道院の図書館は農業・酪農、宗教、医学知識の集積地となっただけではなく、同時に、写字室（スクリプトリウム、*Scriptorium*）も持ち、この修道院で作られた羊皮を使った写本をたくさん作成していました。これらの写本は今でもイタリア各地の博物館で保存されています。このようにして、12,3 世紀まで、宗教、学問と生産力において、聖コロンバーノ修道院とボッビオの街は北イタリア全体に影響力を及ぼすほどの規模になっていました。

ところが、13 世紀になると、ボッビオはピアチェンツァの支配下に入ります。1304 年にはこの地を支配下に収めたコラディーノ・マラスピーナによって、街を見下ろす丘の上にマラスピーナ城が築かれました。その後も、ミラノ公国に支配されることになり、徐々に、修道院も村全体も力を失っていきます。15 世紀に入ると、写本が各地に分散されたこともあり、これらの修道院の技術力と知識がイタリアの各地に分散されて、聖コロンバーノ修道院の優位性も衰えてしまいました。現在残る聖コロンバーノ修道院の建物のうち一部のロマネスク建築以外の大部分は、この頃に建て直されたものです。聖コロンバーノ修道院の技術力と知識を除けば何もないボッビオ村にとっては、昔の栄華を取り戻すすべはなく、その後もサヴォイ家の支配下に組み込まれ、その後バヴィアの管理下に入ったこともありましたが、最終的にピアチェンツァの管理に戻り今日に至っています。今では、鉄道駅もない村となっていますので、経済的にも宗教的にもピアチェンツァの枠の中に入ってしまったようです。従って、ボッビオは聖コロンバーノ修道院とともに栄枯盛衰を歩んで来た村なのです。

ここは古い村ですので聖コロンバーノ修道院以外にも観光名所は多いのですが、アクセスも良くない

ので知る人ぞ知る観光地となっています。特に、外国人にはほとんど知られていません。日本語のインターネットでもボッピオに関するものは1件しかありませんでした。但し、そこに、「イタリアの最も美しい村に認定された」と書いてありましたので、どんなものか見に行くことにしたわけです。事前に、イタリア語のサイトでこの村の資料を集めたところ、上記で述べたような修道院とボッピオの街の歴史を見つけました。他にも添付のような観光地図も見つけました。地図にあるように、観光名所は、古い修道院、ローマ時代の橋、ドゥオモ、古い教会、お城と充実しています。それに加えて、トレッビア川と周囲の山々の景観にも恵まれています。

ちょっと、前置きが長くなってしまいましたが、当日、ボッピオ村に到着すると、この日は村中に街頭マーケットが出ていました。このためか、ボッピオ村の回りにはたくさんの車が駐車していました。きっと、近隣の村や街から買い物にきていた人と観光客が加わって膨れ上がっていたのでしょう。ボッピオ村の中は人口4千人の村とは思えないほどの人の数でした。バスでボッピオに到着すると、降りた人の流れに乗って歩くと、村の中心にあるコロンバーノ修道院でした。この周りには街頭市でいっぱい、歩くのも大変な混みようでした。市の脇をすり抜けて修道院に入り、修道院の正面に行くと、正面の広場は臨時駐車場となっていて、駐車している車でいっぱいでした。



この街は、すべてが聖コロンバーノ修道院を中心に動いているようです。続いて、街頭市がいっぱいの修道院裏の広場脇にあるサン・ロレンツォ教会です。ここも12世紀に建てられた古い教会で、聖母マリアが拝されています。



街頭市に沿って歩くとドゥオモ広場に出ました。ドゥオモも 11 世紀に建てられた古い教会です。祭壇のフレスコ画が素晴らしい教会でした。



マラスピーナ城は 13 世紀に建てられました。お城はどこでも、自分の街が見渡せるところに建てるものですが、このお城も同じです。ここから街の景観は素晴らしい。お城はそれほど大きくはありません。また、内部は公開されていませんでした。お城の周りは公園になっているのですが、きれいにはなっていませんので誰も人がいませんでした。但し、ここから見るお城はとてもきれいでした。



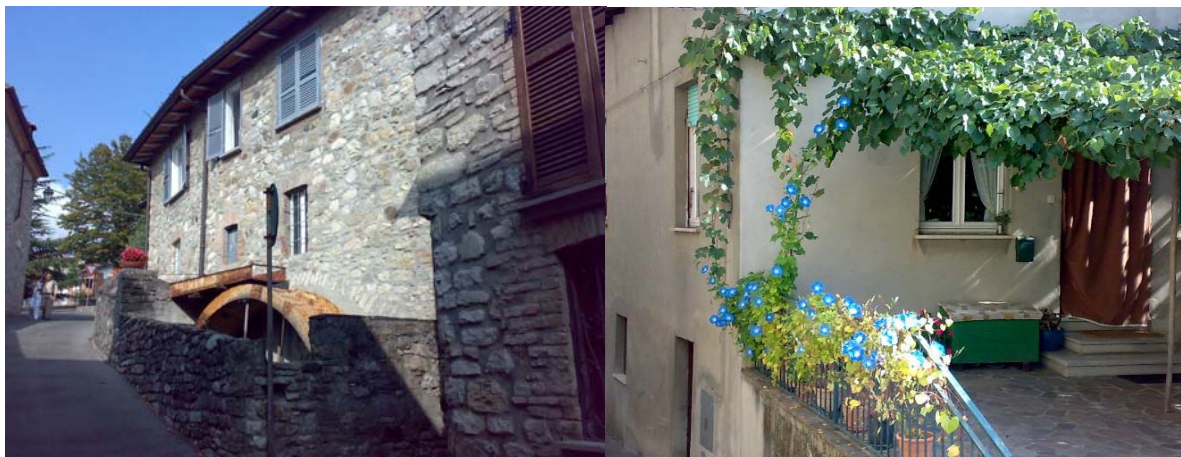


最後に、ローマ時代に起源を持つポンテ・ヴェッキオです。橋は真直ぐでも平らでもないことが古さの証明です。この橋は、壊れて使えなかった時に聖コロンバーノが悪魔（サタン）に1晩のうちに修復させたとの言い伝えがあり、「悪魔の橋」と言われているそうです。きれいなトレッビア川と周りの山々がとてもすばらしい。それに、ここからのボッピオの街もすばらしい眺めです。



この村はこじんまりとまとまっていて、今でも非常に強いしかも比較的古い中世ヨーロッパの香りが漂っている村でした。イタリアで最も美しい村かどうかはわかりませんが、確かに、周囲の景観のすばらしさに加えて、歴史建造物とマッチした街並は、正に、「美しい村」です。全体的には世界遺産のサッピオネータと似ていますが、ここの方がサッピオネータより周囲の景観が良く、街並みも古

く、雰囲気異なります。個人的にはこっちのほうが「美しい」と感じました。ここは、所謂、ほとんど日本人が行かない（知らない）穴場の観光地です。正に大穴の中です。村は小さいので歩いて回れますが、小さすぎて、歩いていると何時の間にか同じところに出てしまいます。



鉄道駅がないので、ボッピオへのアクセスはなかなか見つかりませんが、ピアチェンツァからバスが出ていました。ピアチェンツァ駅のバス停留所から **Tempi** バスがボッピオ村に行きます。バスの停留所は、駅から駅前広場を越えたところにあるマントヴァーナ銀行の前にあります。バスはボッピオ行きですので、大きく“**Bobbio**”と表示されていますので直ぐにわかります。ボッピオまでの距離は約 45 キロで所要時間は 1 時間 15 分です。日曜日は、早朝、昼、晩の 1 日 3 本しか便がありませんので、行くなら土曜日しかありません。平日と土曜日の午前中は、8 時 53 分と 11 時 3 分の 2 本しかありませんが、その後は約 1 時間間隔でバスが出ています。料金は片道 3.7 ユーロで、チケットはピアチェンツァ駅のタバッキで購入できます。このバスは、ヴァル・トレッビア（トレッビア溪谷）に沿って走るピアチェンツァとジェノヴァを結ぶ国道を、国道沿いにある村々に寄りながらボッピオに向かいます。トレッビア溪谷の景色はとてもきれいな上に、通り過ぎる村々も味わいがありますので、快適なバスの旅となります。もちろん、空調付のきれいなバスです。

ピアチェンツァまでは、ロゴレド駅から 2 時間間隔でイタリア国鉄が出ています。所要時間は 40 分から 1 時間です。バス・列車の待ち時間を有効に使うためには、ピアチェンツァの観光とあわせて考えると良いと思います。

ボッビオ観光地図

付録として、インターネットで見つけた観光地図をつけます。ボッビオのツアリスト・インフォメーションは、バスを降りた広場にありますが（下記地図の No.15）。

- ◇ Abbazia di San Colombano (n° 1 sulla cartina)
- ◇ Castello Malaspina (n° 10 sulla cartina)
- ◇ Duomo (n° 3 sulla cartina)
- ◇ Chiesa di San Lorenzo (n° 4 sulla cartina)
- ◇ Palazzo Trecentesco (n° 5 sulla cartina)
- ◇ Convento di San Francesco (n° 6 sulla cartina)
- ◇ Santuario della Madonna dell' Aiuto (n° 7 sulla cartina)
- ◇ Palazzo Olmi (n° 9 sulla cartina)
- ◇ Ponte Vecchio (n° 12 sulla cartina)
- ◇ Museo della Citta

